

鹿児島大学病院

研修医 藤善 卓弥 2017年11月

鹿児島大学病院より地域医療研修で11月にお世話になりました、研修医2年目の藤善 卓弥と申します。

私は生まれてから高校まで鹿児島市内で過ごしましたが、出水を訪れたのは確か小学校低学年ぐらいのときで、鶴を見た以外に記憶はなく、そもそも出水に対するイメージは鶴以外ありませんでした。

1ヶ月間の研修は、まずは高尾野診療所、続いて野田診療所、合間に保健所、そして医療センターにて研修させて頂きました。

高尾野診療所では、外来研修・病棟業務・訪問診療等を行いました。大学病院では外来をすることはあり得ないので、初めての外来に最初は何をしていいのか戸惑ってしまいましたが、徐々に慣れていきました。

紙カルテも初めての経験で難しかったです。また診療所という限られた資源・設備の中では、身体診察や病歴聴取がいかにか身をもって経験し、これからも大切にしていこうと思いました。

野田診療所では、エコー・外来見学・在宅医療等を経験しました。エコー検査に関しては、自分でやったことなく何もわからない状態でしたが、所長が一から教えてくれたので、少しは出来るようになりました。これからもスキルを磨いていきます。往診では、身体的な理由や住居の場所が原因で通院が不可能な方もいらっしゃるの、いかに大切かを理解できました。

保健所では、生後半年の赤ちゃんの健康相談や3歳児健診に参加しました。私たちからすれば経過観察で十分な皮膚病変も、お母さんにとってはかなり気になるものだと、考え方の相違を感じ、母親の子供への愛情を感じました。あと、小児科の知識をもう一回勉強しようと思いました。

院内研修では、午前中は小児科を、午後からは他職種との連携ということで、看護部・地域連携室・医療安全管理室・薬剤科・臨床工学科・臨床検査科・リハビリテーション科などなどバラエティーに富んだラインナップでした。小児科を研修するのは初めてで、ハンコ注射や各種予防接種をうつところを見学させていただき、貴重な体験でした。子供なので診察する際は泣くので、その間に聴診するのは難しかったです。他職種との研修では、どのスタッフさんも優しい方ばかりで、専門とされている分野を手とり足とり教えていただき、かなりプロフェッショナルだなあと感じました。そして、彼らなしでは病院は運営出来ないことを理解し、これからもそのことを念頭に置き、感謝の気持ちとリスペクトを忘れず、仕事をすることを誓います。

最後になりましたが、宗清先生を始め、事務の方、各部署の方々、小児科のスタッフさん、保健所の方々、お忙しい中時間を割いていただき、誠に有り難うございました。この1ヶ月で学んだこと・感じたことを忘れずにこれからも人助けをしていくことを誓います。